

2021 年度第 2 回 JHA マスターズ部会役員会メモ

日時：2021 年 11 月 5 日（金）16：40－18：00

場所：OSP ホッケースタジアム会議室

参加者：関谷会長、瀧上副会長、菅副会長、宮本専務理事、山田常務理事、石川常務理事、森阪常務理事、浜中常務理事、高瀬強化・育成委員長、杉浦競技委員、内山（記）

会議概要：（ ）＝報告者及び発言者（敬称略）

1. 開会挨拶（関谷）

2. 審議事項

① Masters Hockey World Cup 2022 Tokyo について（関谷）

- 2022 年 10 月 19 日～29 日、大井 2 面・駒沢競技場で開催される。
- 来年 1 月中旬に WMH から招待状を送付し、3 月中旬までに参加料支払い、エントリーチームを確定する。
- コロナ感染状況や入出国規制等をみながら、3 月末に開催か延期か中止かを決定する。
- 日本チームの宿泊ホテルは大井町のアワードイン阪急の予定。2 か月前までキャンセルがきく。開会式・懇親会等は未定。
- 昨今の状況では参加チーム数は減る方向にあるので予断を許さない。
- 3 月末に開催が決定されても、その後の感染状況により中止もありうる。中止の場合は 2024 年に延期となるかも、又 年齢別構成の見直しがあるかも。（浜中）
- 1 月に招待状を送る前に HP の再開とニュースレターを発行する。12 月中旬にはドラフトを確定させて、WMH の事前承認を得る必要がある。（浜中）
- スポーツ振興会には年明けにあらためて 1 千万円の補助金申請を行う。（瀧上）

② 日本代表選手選考ガイドラインについて（石川）

- ガイドラインを MBK のホームページに掲載してもいいか？→問題ない。（瀧上）
- コーチやトレーナー・フィジオ、帯同審判また選手団長・副団長といったスタッフはガイドラインに記載がないが、記載しなくてよいか。（高瀬）
- ガイドライン「6.その他」にある「必要な措置」として、選手選考委員会で決めればいい。
- 監督は決めないといけないが、コーチを任命するかは主将に任せる。（関谷）
- 監督やコーチといった概念を国際ルールに合わせる必要がある。例えば監督はマネージャーと解釈されるが、日本の場合マネージャーは主務になる。認識を統一

すべき（浜中）

③ Masters Hockey World Cup 2022 選手選考について（高瀬）

- 今回エントリー130名、うち111名が合宿に参加している。
- 最終選考は来年2月に和歌山のマツゲングラウンドで行い、3月に選手選考委員会を開催して決定し、JHA 理事会に報告のうえ HP に掲載する。

④ マスターズ JAPAN CUP 2021 の反省について（瀧上）

- JHA 技術委員会から、JHA 公式大会に見合った運営をしてほしい旨要望がある。例えば、ユニフォームの着用義務付けなど。（杉浦）→今後の改善課題としたい。（関谷・石川）

⑤ 来年度の大会スケジュールについて（石川）

- 配布資料のとおり。関東地区で新たにマスターズ 60+リーグが開催される予定。
- JAPAN CUP は来年度から大井競技場（ノース、サウス）で開催するため、参加チーム数を増やしたい。特に女子や 50+、60+。

⑥ 役員、委員候補者について（瀧上）

- 強化・育成委員会については男子・女子に分けて指導者を決めたい。男子は検討中だが、女子は加藤直美さんを推薦したい。（高瀬）→承認（役員全員）
- 強化・育成委員会として銀行口座を設けそこで入出金管理をしているが、MBK としての対応を検討してほしい（高瀬）
- レディース委員会については中村委員長の後任として女性候補を募っている。
- 国際委員会の委員として、まだ 50 代だが海外経験豊富な TU の高田良太さんを推薦したい。（関谷）→承認（役員全員）

3. その他

- 今後マスターズの 35+、40+、50+のカテゴリーも拡大したい（関谷）

4. 閉会挨拶（菅）

以 上